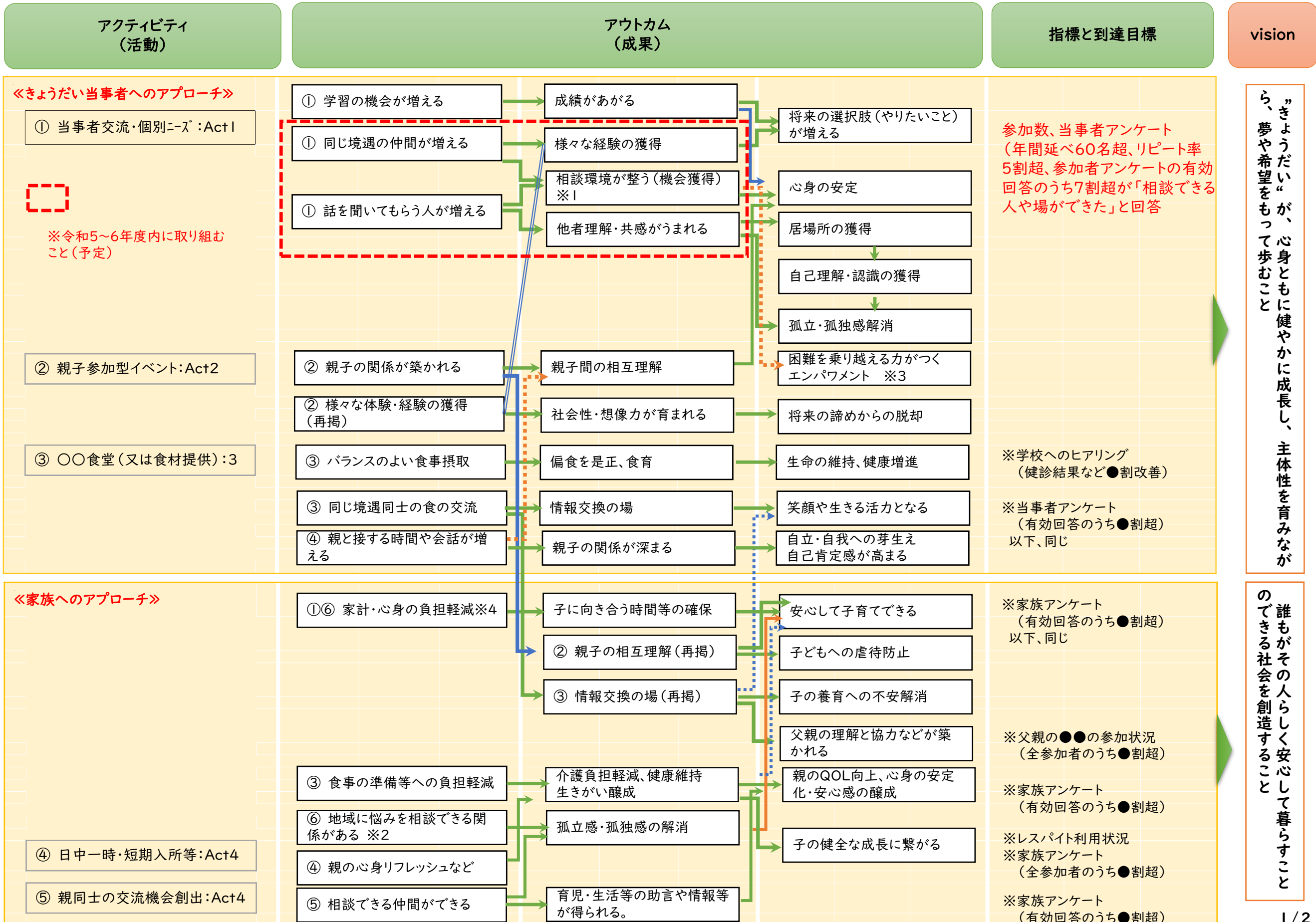
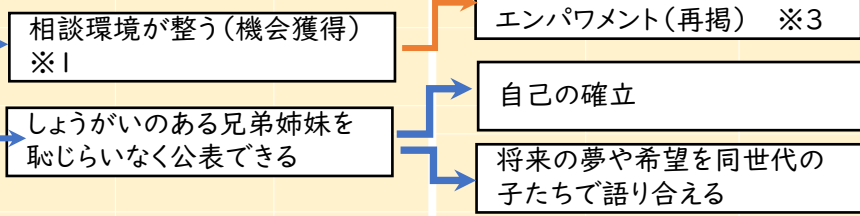


# きょうだい支援に関するロジックモデル概略図

令和5年7月18日策定

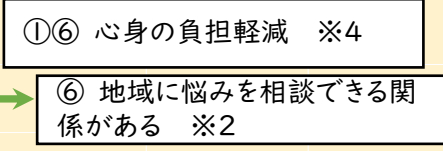


《きょうだい当事者へのアプローチ》



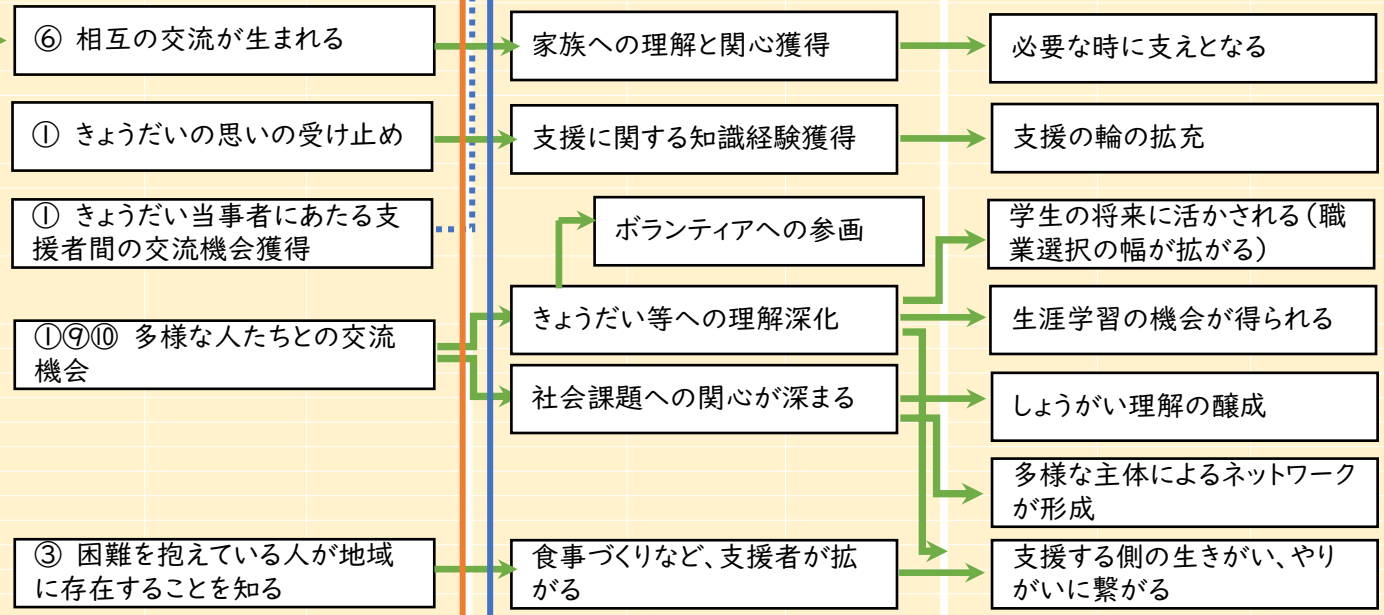
※当事者アンケート  
(有効回答のうち●割超)  
以下、同じ

《家族へのアプローチ》



《地域住民・学生等へのアプローチ》

⑥ 家族と住民との顔合わせ:5



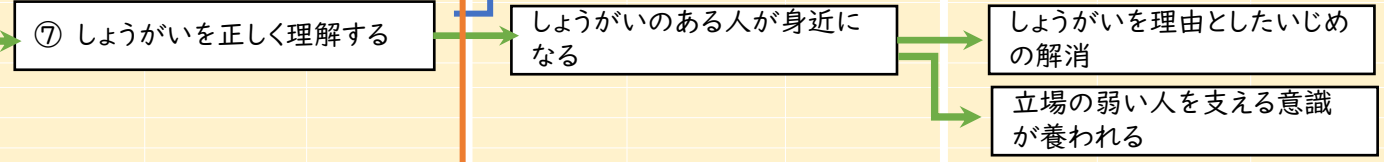
※参加家族へのヒアリング  
(有効回答のうち●割超)

※参加者アンケート  
(有効回答のうち●割超)  
以下、同じ

※住民意識調査  
(有効回答のうち●割超)

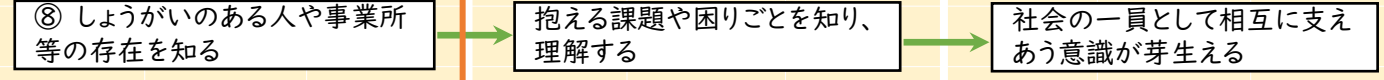
※ボランティアアンケート  
(有効回答のうち●割超)

⑦ 子どもへの福祉講座等:Act6



※学校へのヒアリング  
(有効回答のうち6割超)

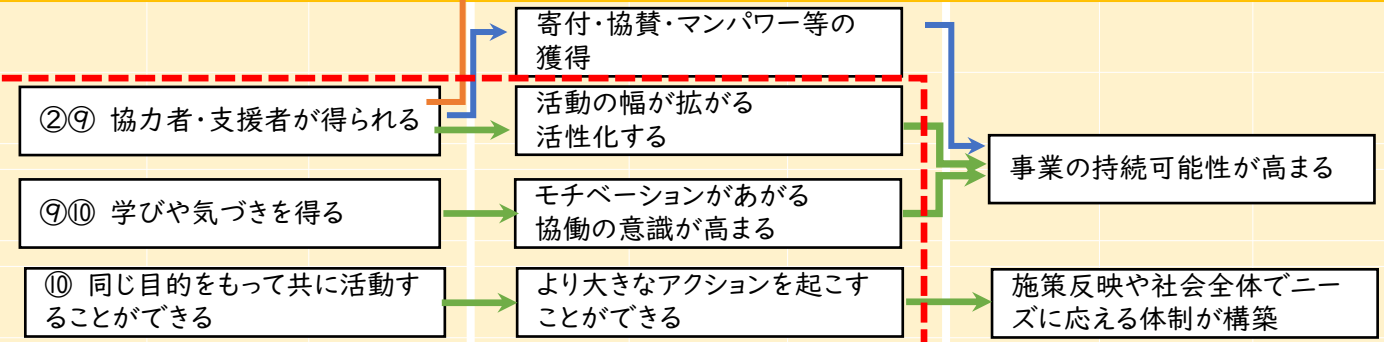
⑧ 地域行事への参加:Act6



※ボランティア数  
(目標:毎年●名)

《その他へのアプローチ》

⑨ プロジェクトの広報:Act7



※定量的  
(パートナー参加数)  
(寄付や協賛等)

※参加者アンケート  
(有効回答のうち7割超)

（多様な人々たちを社会全体で支える風土を醸成し、地域力を向上すること）